

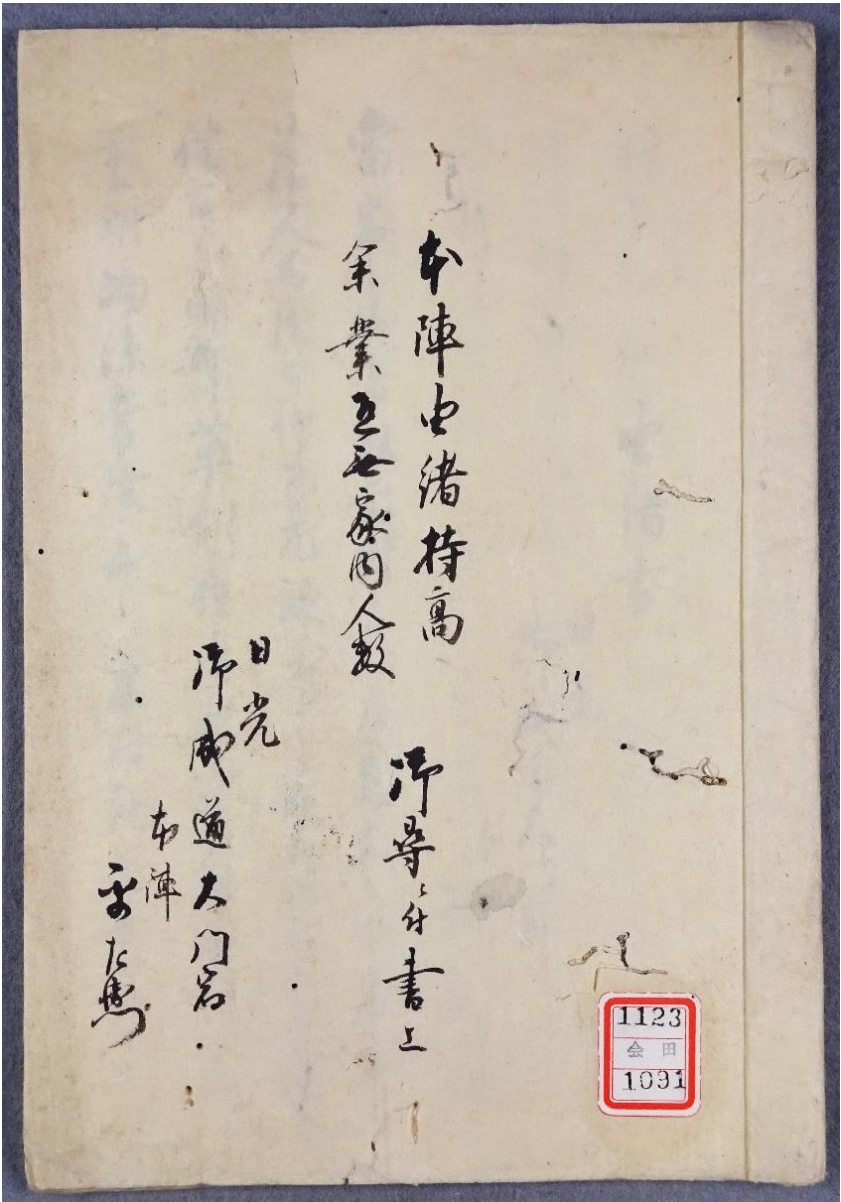
「大門宿本陣由緒書」を読む

嘉永四年（一八五二）二月十二日

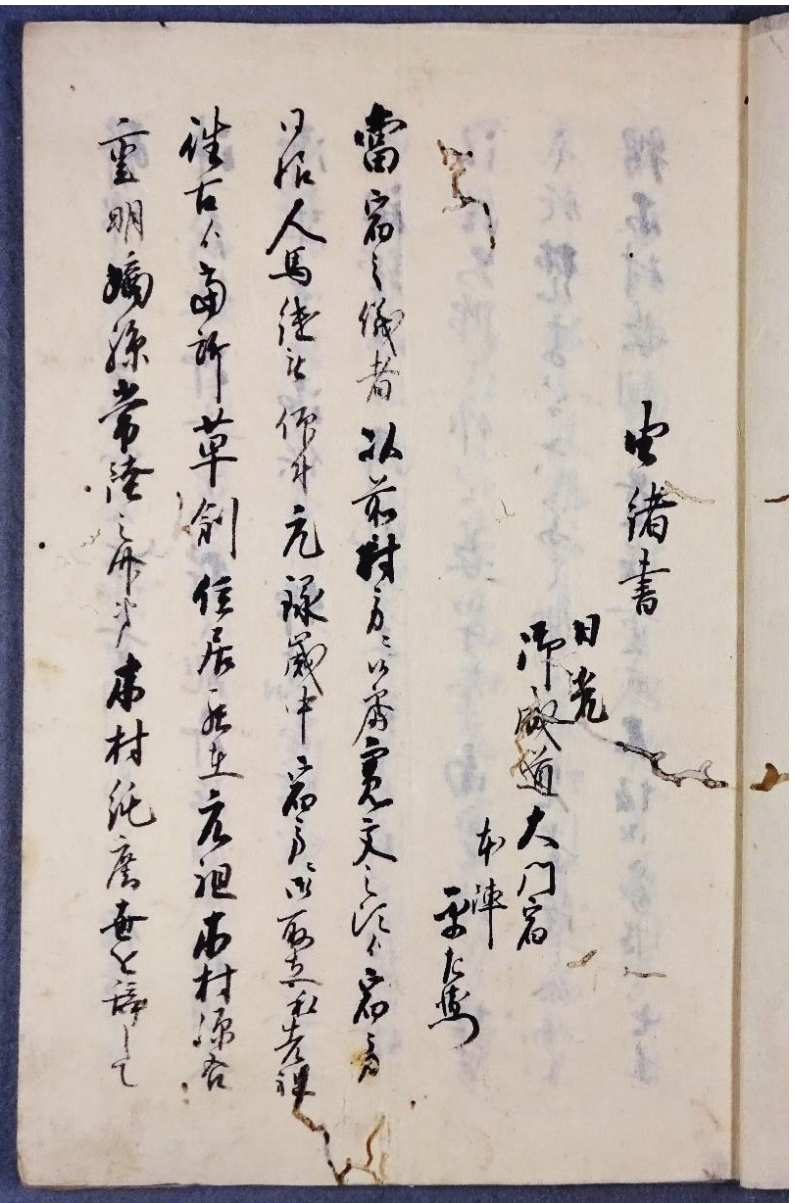
本陣由緒持高余業有無家内人数御尋二付書上

（会田家文書No.1091）

（表紙）



（二丁目表）



同即豊後守娘と長門守討死す前日自盡す
長門守弟、猪飼た馬し余は娘入

神君様築東沖入由し帝を刺高業は力
入其時九、皇に常取し業あり皇に座あり疾

神君様築東沖入由し帝を刺高業は力
入其時九、皇に常取し業あり皇に座あり疾
石三才分皇に力に純臣是に能致不ナリ
詔致す下し上意を致す能致不ナリ

コフゲテモ思フ

二つり物願致し其節

上意を満太郎一同築東沖供し作付

神君様沖城介沖巡り神純唐満太郎

沖供し作付城巡り任后下付上意を

沖杖を紅物とし為所日中控通き下目表例

西門口於七、横行ゆゆらるる面表此物願任后

吏人日勤す文も是例の去忠勤す所知行

下市町名表

上意以得兵冲家来以指之由上三辞退仕。

冲清中三以初之由多合物任仕依之而村

ハ多如備ハ吉列高第と共武列大門口庄

會田印記ハ常陸之伴是概陣、乃要之と云

高所、来ハ永保二年中、小田原小常家、橋下

會田中智恵、婿孫會田印記、大門口望清云。

候、辰村ハ之由、主和来ハ、後居、計、而、福、也

依ハ印記之、女之、名、妻、と、一、男、アリ、知、名、牛、子、也

母、ハ、之、姓、會、田、子、也、無、傳、の、り、改、名、日、性、口、苗、也

記、列、様、
印、様、也

而、龍、院、様、ハ、石、上、印、旁、場、島、見、致、也

作、身、法、持、持、月、以、裁、格、式、也、作、身、法、持、持、也

印、印、扱、之、吏、ハ、一、日、也、之、体、也、後、
印、代、也、也

神領ありし今も神領に在りし計時會田跡に
三代目神會田跡は公界跡四市跡は
由り是觀に仕會田と相田と改相平作
神會東成今位列上田と由り之相田
松木と櫃と為神木今も清心と先祖
漸く方原十丑年神領主一松平伊賀守様

神會西成不土地と由り 伊賀守伊賀守様
神會成神會成通と改相下道と唱上通神
成通と改計時方門村西村と一村と
神會傳馬名と 伊賀守伊賀守様
神領主神會傳中守様 常日苗字の
成下格式と 伊賀守伊賀守様
中東門村西村と由り神會